

夏祭りの伝説行事
白瀑神社例大祭「みこしの滝浴び」

8月1日、八峰町の夏の風物詩として定着した伝統行事、白瀑神社例大祭「みこしの滝浴び」が行われました。みこしが滝にはいるのは全国でも珍しく、この祭りを一目見ようと、町内外から多くの見物人が訪れました。

午前7時過ぎ、白装束に身を包んだ若衆が「わっせ、わっせ」と威勢の良い掛け声とともに、みこしを担ぎながら白瀑神社を出発し、八森地区を練り歩きました。

午後1時ごろ、神社に到着したみこしは一気に滝つぼへなだれ込み、祭りはいよいよクライマックスへ。落差約17メートルの滝を浴びながら乱舞するみこしに、大勢のカメラマンからフラッシュが浴びせられ、大歓声が上がりました。



乱舞するみこしに観客から大歓声

きれいな海岸で海水浴を
町民らが海岸線を「ゴミ拾い」
「八森地区海岸クリーンアップ」



きれいな海岸にしようと汗を流しました

7月14日、海水浴シーズン前に八森地区海岸クリーンアップが行われ、町自慢の美しい海を守ろうと多くの町民が参加しました。

参加者たちはゴミ袋を手に、波打ち際に寄せられたゴミや投げ捨てられた空き缶などを約1時間にわたって拾い、あつという間にゴミの山が出来上がりました。ゴミの中には、冷蔵庫やタイヤなど不法に投棄されたものもありましたが、参加者たちは海岸をきれいにしようと汗を流してゴミを拾っていました。

きれいな海岸で海水浴ができるように、ゴミの投げ捨ては絶対に止めましょう。

いよいよ海水浴シーズンの到来
シーズン中の無事故を祈願
「海開き神事」

7月20日、岩館港の間海岸が海開きされ、岩館海浜プールY.O.U遊海館で神事が行われました。この日は、町や、議会、観光協会関係者や町民ら約20人が参加し、「無事故で、大勢の海水浴客が訪れますように」と祈願しました。

また、この神事に先立ち、たくさんのお客が安心して楽しめるように、海岸のクリーンアップを行ったほか、八峰消防署の救急隊員を講師に心肺蘇生法などの海難救助訓練を行いました。

海開き当日は小雨が降るあいにくの天気でしたが、7月下旬の土日には、たくさんのお客が、暑い夏を楽しんでいます。



万が一に備えて救急救命講座

堀川小学校
内閣総理大臣表彰を受賞
地域ぐるみの安全教育が認められる

地域での安全思想の普及徹底と安全水準の向上に顕著な功績を挙げた者に対し授与される「安全功労者内閣総理大臣表彰」が7月1日の「国民安全の日」に発表され、堀川小学校が能代山本地区では初めて受賞しました。

堀川小学校では毎月地震を想定したミニ訓練や、20年以上前から続けている交通安全鼓笛隊パレード、地域の老人クラブの指導による「鍾馗様」作成など、地域ぐるみで児童の安全意識を高める活動が継続して行われてきました。



長年の活動が認められ受賞しました

サルの一斉追い上げ実施
サル被害をおさえるため
多くの町民が参加しました



モンキードックも参加しました

7月22日、サルの一斉追い上げが八森地区全域で行われ、町民約120人が参加し、ロケット花火などを使い実施しました。

この一斉追い上げは、田畑が荒らされるなどのサル害への対策として、八森サル被害者の会が平成12年から毎年行っているものです。

今年も八森地区の山沿い13箇所を実施し、昨年からの訓練を実施してきたモンキードックが新戦力として出動しました。

この日の追い上げでは、サルの姿は見えなかったものの、泊川付近でサルの鳴き声が聞こえたため、猟友会のメンバーがゴム弾で重点的に追い上げを実施しました。

日ごろの訓練の成果を発揮
消防操法の技術を競いました
「八峰町消防操法訓練大会」

7月8日、平成19年度八峰町消防操法訓練大会が発盛ダム跡地で行われ、参加した町内の全15分団は、日ごろの操法訓練の成果を競い合いました。

競技は自動車ポンプの部と小型ポンプの部の2つの部で行われ、各分団は本番さながらに真剣な表情で、きびきびとした動作で競技に挑みました。

また、この日は日赤奉仕団による炊き出し訓練が行われ、競技を終えた団員達は、つみれ汁やおにぎりを美味しく食べていました。

■大会の結果
○小型ポンプの部
優勝：第9分団（八森） 準優勝：第12分団（中浜） 第3位：第6分団（塙） 第4位：第2分団（目名湯）



本番さながらの操法

八峰町とノースアジア大学が
「観光に関する連携協定書」に調印



観光発展を目指し協定が結ばれました

7月13日、八峰町とノースアジア大学による「観光に関する連携協定書」の調印式が行われ、加藤町長と小泉理事長がこの協定書にサインしました。

この協定は、平成20年度から同大学の法学部に観光学科が新設されるのを機に、観光の現場での研究や調査、教育などを連携して行い、観光産業の発展に貢献することを目的としています。

具体的には、観光施設での学生の實習や地元観光イベントへの参加、八峰町在住・出身の高校生を入学させる、地域卒入学制度の設置などが盛り込まれています。

きらびやかな舞で入居者を魅了
「幸美しあわせの会」が海光苑を訪問



きらびやかな舞に入居者は大喜び

7月9日、能代市の幸美しあわせの会（会長大山幸子）が特別養護老人ホーム「海光苑」を訪問し、新舞踊の千川流の舞を披露し、入居者を喜ばせました。

この会は、県北の介護施設を中心に訪問し、新舞踊などを披露する活動を20年以上続けているそうです。

この日は、同会から7人が訪問し、新舞踊の舞を披露。沖縄民謡では、きらびやかな衣装で登場。利用者からは拍手や掛け声がかかるなど、会場は大いに盛り上がりました。

大山会長は「みなさんからの大きな拍手が一番うれしい」と話し、これからこの活動を続けていくそうです。